



平成 28 年 8 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社 鈴木  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 教義  
(コード：6785、東証第一部)  
問合せ先 取締役専務執行役員 横山 勝登  
(TEL. 026-251-2600)

### 業績予想の修正、営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ

当社グループは、平成 27 年 8 月 10 日に公表した平成 28 年 6 月期（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、同期間において営業外費用および特別損失を計上することになりましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 28 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,934	1,113	1,196	521	42.07
今回修正予想 (B)	23,093	1,436	1,264	165	13.37
増 減 額 (B-A)	159	323	67	△355	—
増 減 率 (%)	0.7	29.1	5.6	△68.2	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 6 月期)	22,355	1,133	1,376	584	47.21

#### (修正の理由)

スマートフォン向けの高需要を背景に、民生向けコネクタ用部品が好調に推移したことに加え、自動車電装向け部品も堅調に推移しました。また、金型セグメント、機械器具セグメントも堅調に推移した結果、売上高、営業利益は前回予想を上回る見通しとなりました。経常利益につきましては、営業外費用において、海外子会社への貸付金等に対する為替差損 2 億 3 百万円の計上もありましたが、前回予想を上回る見込みです。

一方、特別損失へ下記に記載しております減損損失等の計上を行ったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

## 2. 営業外費用の計上

### (1) 為替差損の発生について

平成28年6月期連結決算(平成27年7月1日～平成28年6月30日)において、昨今の為替相場の変動により、為替差損203,628千円が発生したため営業外費用へ計上いたしました。これは主に海外子会社への貸付金に対するものです。

なお、業績への影響につきましては、上記の業績予想の修正に織り込んでおります。

### (2) 貸倒引当金繰入額(個別)の計上について

平成28年6月期個別決算(平成27年7月1日～平成28年6月30日)において、海外子会社、鈴木東新電子(香港)有限公司、鈴木東新電子(中山)有限公司、PT. GLOBAL TEKNINDO BERKATAMAに対する債権について、248,709千円の貸倒引当金繰入額を営業外費用へ計上いたしました。

なお、当該貸倒引当金繰入額は連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

## 3. 特別損失の計上

平成28年6月期連結決算(平成27年7月1日～平成28年6月30日)において、海外子会社の鈴木東新電子(中山)有限公司の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価格を回収可能価格まで減損処理することとし、減損損失275,025千円を特別損失へ計上いたしました。

なお、業績への影響につきましては、上記の業績予想の修正に織り込んでおります。

### \*業績予想の適切な利用に関する説明

上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上